



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2015～2016年度 RI会長 K. R. ラビンドラン
RIテーマ 世界へのプレゼントになろう

クラブテーマ「明るく楽しいロータリー」会長 鈴木政則

副会長 中山和雄 幹事 石井邦夫

第1251回 例会 2015.10.23(金)晴

司会:山口辰哉君 指揮:勝又佳員君
ロータリーソング「それでこそロータリー」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島
TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 鈴木政則君



さて今日は、木造建築について少し触れてみたいと思います。地球上の資源は無限なものではありません。世界中の人々がそのことに気づき、環境意識の高い人は持続可能な社会を築くためにいろいろ取り組んでいます。そんな環境方面から考えて

みると、鉄骨や鉄筋コンクリートで造る建物は解体されれば廃棄物となってしまいますが、解体後もう一度部材として利用できる木造建築は環境に優しい建築資材といえます。木材は再生可能ですから、「植える・育てる・伐る」という環境サイクルの中で、成長しながらCO2を十分に吸収する性能を持っています。又、日本の風土に合った、日本人に昔から愛され続けている木造建築であり、日本で建てる建築として適しています。なのに現在、小規模な住宅以外の建築に木材があまり使用されていないのはなぜでしょう。メンテナンスされていない木材が腐食したり、構造計算をしないままで木材を使用した結果建物が倒壊したり、木造建築は弱いものという間違ったイメージが定着し、建築基準法の改正により一定規模以上の建物は木造にはならないと明記されてしまいました。それでもありがたい事に、今では木造建築は構造計算により技術革新が行われて、鉄筋コンクリートや鉄骨のようにラーメン構法を木造で実現できるようになってきました。その上集成材やプレキャスト工法の技術の発展により、熟練職の人でなくても施工しやすい部材づくりの工夫がなされ、構造・施工の両面から見ても木造建築は進化を続けています。ただ木造建築は水に弱いという弱点はあるものの、この様な近年のめざましい技術発展を加味し、メンテナンスさえ十分にしていれば100年以上もつものなのです。

出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	27/34	79.41%	33/34	97.06%
今回	32/35	91.43%	会員総数	37名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

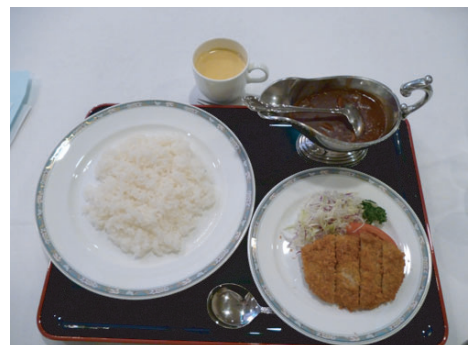
杉山(隆)君、土屋君、山本君

おめでとう

入会記念日 10月3日 内田憲一君
10月26日 宮澤正昭君



今日の料理



卓話

北沢亜鉛工場跡地土壤汚染修復工事 概況説明・跡地利用説明

渡邊照芳君

■北沢亜鉛工場跡地とは

大正6年から8年にわたり亜鉛電解鋳業株式会社が、亜鉛精錬工場を操業過去の文献では、亜鉛原料やその残滓、ばい煙による影響が大きく、北沢はもちろんその周囲の農作物や草木が枯れてしまったという記述がある。当時、鋳毒の訴訟があり、工場の操業は2年で終了した。

■北沢亜鉛工場跡地の状況

①砒素・鉛・カドミウム汚染があった。②汚染は広範囲であり一部は汚染濃度が非常に高いものであった。

③この汚染を修復して、健全な土地利用をすることが課題であった。

→ 修復後は、住宅を計画

■土壤汚染対策法とは

土壤の特定有害物質による汚染の状況の把握に関する措置及びその汚染による人の健康に係る被害の防止に関する措置を定めること等により、土壤汚染対策の実施を図り、もって国民の健康を保護することを目的(平成15年施行)。これにより、土壤汚染にかかる特定有害物質やその基準、調査方法、汚染があった場合の措置方法が規定された。

■本調査・土壤汚染修復工事

本調査・修復工事は、国の定めた土壤汚染対策法を基に実施。つまり、調査の方法や修復工事の方法などは、法の基準により実施。

→ 都度、施行計画を作成して、所管庁(※)と協議のうえ、実施となります。※本件は静岡県、ただし協議の際、三島市の立会あり

■土壤汚染状況調査

▼土壤汚染状況調査(1次表層検査)

53,000m²の対象地を10m×10mのマスを区切り、土壤を採取し、カドミウム・鉛・ヒ素、その他の汚染物質が含まれているか、またその含有量を調査。対象地点数は560地点となりました。

▼土壤汚染詳細調査(2次深度検査)

1次表層調査結果に基づき汚染対象地を30m×30mで区切り、汚染深度を調査。

■土壤汚染状況調査(1次表層調査)



■汚染状況調査(1次表層検査)結果

・汚染区域は約30,800m²

▼「直接摂取のリスク」=「土壤が口に入る可能性を考慮した基準」を示す含有量基準 超過

・カドミウム 約4,600m² 最大値 3000mg/kg(基準値の20倍)

・鉛 約29,700m² 最大値 35000mg/kg(基準値の233倍)

・ヒ素 約5,400m² 最大値 12000mg/kg(基準値の80倍)

■土壤汚染詳細調査(2次深度調査)

採取区画 : C7-3



案内図

着手前

土壌採取状況



採取深度検測(両尺)

採取深度検測(単尺)

採取土壌(土塊コア)

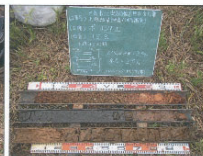
採取区画 : B7-2



案内図

着手前

土壌採取状況



採取深度検測(両尺)

採取深度検測(単尺)

採取土壌(土塊コア)

■土壤汚染詳細調査(2次深度調査)結果

・0.50mまでの表層汚染が主であった。現存している施設の下付近は汚染の深度が深く1.5mまでであった。

・推定汚染土量はおよそ17,800m³、そのうち第2次溶出量基準値超過土壌は約1750m³であった。

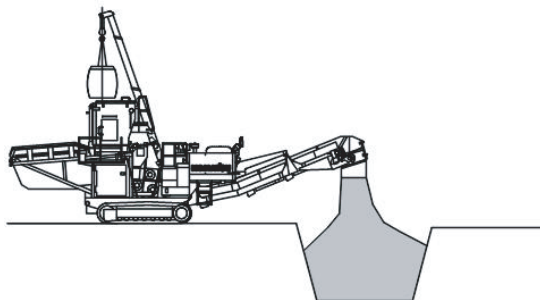
■土壤汚染修復工事

法の規制を受ける指定区域として土壤汚染修復工事を実施
土壤汚染対策法及びそのガイドラインに基づいた修復工事計画を静岡県と協議・決定

汚染土壌 → 不溶化埋戻+盛土

高濃度汚染土壌 → 洗浄(処分ないし不溶化)

■不溶化工事



不溶化工事とは、汚染土壌と改良材を混合することにより、汚染物質を溶け出なくさせることによって、周囲に汚染が拡散しないようにする工法。混合攪拌の手段として、自走式改良機を使用して土壌の不溶化工事を実施。

自走式の土質改良機は、土壌と改良材の混合ムラをなくし、粉塵などの発生を抑制するために造られた重機です。主にコマツ製と日立製が有名です。

〈手順〉目標深度まで掘削→汚染土壌を集積→集積後不溶化工事

■洗浄工事

〈洗浄状況〉

高濃度土壌は、現地で洗浄処理して濃度を低減させます(分級+抽出)。洗浄処理は、土質によって効果がことなりますので、処理後の土壌を分析することによってその後の処理方法を決定します。

- ① 分析の結果基準値適合 → 非汚染部への埋め戻し
- ② 分析の結果基準値不適合 → 不溶化し、埋め戻し
- ③ 分析の結果高濃度基準超過土壌のまま → 処分

■内陸フロンティア推奨区域認定

・概要の目的

東日本大震災の発生、内閣府が発表した南海トラフの巨大地震の津波被害想定を発表、新東名高速道路の県内162キロ区間の開通などを契機に、沿岸域中心の国土構造の転換と、多自然共生地域への期待から、沿岸・都市部と内陸・高台部の均衡ある発展を図ることで、安全・安心で魅力ある地域づくり(東日本大震災の復興のモデル・美しく品格のある地域づくり)を目指す。

・三島市の事業計画

東名・新東名高速道路に直結している東駿河湾環状道路が、市内を通り、平成26年3月までに伊豆中央道に接続することから、その沿線地域を沿岸・都市部からの移転を希望する企業や住民の受け皿として活用し、防災・減災機能の充実を最優先に、美しさと品格のある内陸部の発展を図っていくため、平成29年度までの5年間での事業完了を目指す。

三島市では下記5つの事業計画のほかに、新たに北沢亜鉛工場跡地利用として133区画宅地分譲事業が認定されます。(★)



■サンステージ向山 王の郷64区画

〈豊かな暮らし空間創生住宅地〉

イメージロゴ・コンセプト



・エリア概要

サンステージ向山分譲地全133区画のうち西側64区画は、静岡県が推奨する自然と調和するゆとりある「豊かな暮らし空間創生住宅地」に認定されるエリアです。

その豊かで美しい暮らし空間を創るため「自然との触れ合い」、「家族との団らん」、「地域とのつながり」を大切に、向山の自然環境と調和したゆとりある安らぎのある良好な住環境の形成を図ります。

■サンステージ向山 はにまるタウン69区画

イメージロゴ・コンセプト



・エリア概要

「三島市立向山小学校」や「向山古墳群公園」が近くにある当分譲地は、子育て世代に最適な環境です。

特に分譲地東側に位置する69区画は、子供のために早い時期からマイホームを持ち家族との絆を育んでもらえるようリーズナブルな価格で提供。

向山の豊かな環境が、子供たちの大切な学びと遊びの場としてまた家族の安らぎと癒しの空間として発展していきます。

スマイルボックス

篠木 喜世君:いつも楽しみに参加させていただいております。本日早退します。申し訳ありません。

田中錦城君:本日、税理士より連絡が有り、税務署さんが来て頂けるようです。(笑)スマイルします。

鈴木真知子君:入会まる一年です。感謝してスマイルします。すみません、早退させていただきます。

内田憲一君:スママセン、早退します。